

抗アレルギー機能で訴求

シクロケム αシクロデキストリン

6個のブドウ糖が環状に結合した糖質の一種であるαシクロデキストリン(CD)。同素材を原料供給するシクロケムは、最新研究で確認した抗アレルギーの機能で訴

求し、新規クライアントに結合した糖質の一種で、開拓を図っている。I&E抗体が減少する作用機序を突き止めた。I&E抗体が増えることを確かめた。

一方、同社はマウス試験を行い、αCD摂取群が無繊維食群やラクトスクロース摂取群に比べ、腸内でムチン量が増加することを確認した。ムチンは粘性糖タンパク質の無繊維食群と比較して、腸管上皮粘膜層の主要成分として腸管バリア機能を担っている。このため同社は、αCDは腸管バリア機能を向上させることで、アレルギーの腸管膜透過性を抑制し、I&E抗体の増加を抑えることが分かったと推奨する。過剰に摂取したタンパク質は、腸内悪玉菌に分解されてアンモニアやメチルメルカプタンなどの腐敗産物が産生され、血中に移行してしま

一つで、腸管上皮粘膜層の主要成分として腸管バリア機能を担っている。このため同社は、αCDは腸管バリア機能を向上させることで、アレルギーの腸管膜透過性を抑制し、I&E抗体の増加を抑えることが分かったと推奨する。過剰に摂取したタンパク質は、腸内悪玉菌に分解されてアンモニアやメチルメルカプタンなどの腐敗産物が産生され、血中に移行してしま

知見や素材特性で訴える